

調査計画

1 調査の名称（特定一般統計調査 その他の一般統計調査）

国民健康・栄養調査

2 調査の目的

国民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、国民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的とする。大規模年にあつては、全国の代表値に加えて地域別の健康状態や生活習慣の状態を把握するための資料とする。

3 調査対象の範囲

(1) 地域的範囲（全国 その他）

(2) 属性的範囲（個人 世帯 事業所 企業・法人・団体 地方公共団体 その他）

① 栄養摂取状況調査票：世帯及び1歳以上の世帯員（ただし、1日の身体活動量（歩数）については、20歳以上の世帯員に限る。）

② 身体状況調査票：1歳以上の世帯員（ただし、身長・体重以外の項目については、20歳以上の世帯員に限る。）

③ 生活習慣調査票：20歳以上の世帯員

4 報告を求める個人又は法人その他の団体

(1) 報告者数

ア 大規模調査

① 栄養摂取状況調査票：約23,750世帯／約54,000人（母集団の大きさ：約5,500万世帯／約1億2,300万人（1歳以上総人口））

② 身体状況調査票：約54,000人（母集団の大きさ：約1億2,300万人（1歳以上総人口））

③ 生活習慣調査票：約44,000人（母集団の大きさ：約1億500万人（満20歳以上総人口））

イ 通常年調査

① 栄養摂取状況調査票：約6,000世帯／約15,000人

② 身体状況調査票：約15,000人

③ 生活習慣調査票：約12,000人

(注) 本調査の計画作成時期までに同年の国民生活基礎調査の報告者数は確定していないため、本計画の報告者数は、国民生活基礎調査の報告が得られると見込まれる世帯及び世帯員数を記載している。

2) 報告者の選定方法 (□全数 ■無作為抽出(□全数階層あり) □有意抽出)

ア 大規模調査

① 栄養摂取状況調査票

国勢調査の調査区のうち後置番号1の地区から、層化無作為抽出した全国計475地区内の全世帯及び1歳以上の世帯員を報告者とする。

② 身体状況調査票

①の対象となる世帯員を報告者とする。ただし、腹囲測定、血圧測定、血液検査、問診（服薬状況、糖尿病の治療の有無、運動）についてはこのうち20歳以上の世帯員を報告者とする。

③ 生活習慣調査票

①の対象となる世帯員のうち、20歳以上の世帯員を報告者とする。

イ 通常年調査

① 栄養摂取状況調査票

国民生活基礎調査の調査区に設定された単位区（大規模調査年で約11,000単位区、簡易調査年で約2,000単位区）から、300単位区を無作為に抽出し、当該単位区内の全世帯及び1歳以上の世帯員を報告者とする。

なお、国民生活基礎調査の報告が得られなかった世帯及び世帯員については、報告を求めない。

② 身体状況調査票

①の対象となる世帯員を報告者とする。ただし、腹囲測定、血圧測定、血液検査、問診（服薬状況、糖尿病の治療の有無、運動）についてはこのうち20歳以上の世帯員を報告者とする。

③ 生活習慣調査票

①の対象となる世帯員のうち、20歳以上の世帯員を報告者とする。

5 報告を求める事項及びその基準となる期日又は期間

(1) 報告を求める事項

- ① 栄養摂取状況調査票（生年月日、仕事の種類、食事の状況、料理名、使用量等）
- ② 身体状況調査票（身長、体重、腹囲、血圧、服薬状況、糖尿病の治療の有無、運動習慣の状況等）
- ③ 生活習慣調査票（健康づくりにおけるICT利活用の状況、歯の健康の状況、休養（睡眠）の状況、飲酒の状況、喫煙の状況等）

[集計しない事項の有無] 無□ 有■

身体状況調査票の身体計測の「計測方法」は測定値の確認にのみ用い、「食後時間」は血液検査項目の確認にのみ用いるものであり、これ自体の集計は行わない。

(2) 基準となる期日又は期間

ア 大規模調査

令和6年10～11月中の任意^(注)の1日

(注) ①、③については報告者の任意とし、②については調査会場を設置する保健所の指定する日とする。

イ 通常年調査

調査実施年の11月の任意^(注)の1日

(注) ①、③については報告者の任意とし、②については調査会場を設置する保健所の指定する日とする。

6 報告を求めるときに用いる方法

(1) 調査系統

調査票の配布：厚生労働省－都道府県・保健所設置市・特別区－保健所－調査員^(注)－報告者

調査票の回収（調査員調査）：報告者－調査員－保健所－都道府県・保健所設置市・特別区－国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所－厚生労働省

調査票の回収（オンライン調査、郵送調査）：報告者－保健所－都道府県・保健所設置市・特別区－国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所－厚生労働省

(注) 調査員とは、主として医師、管理栄養士、栄養士、保健師、臨床検査技師等

(2) 調査方法

郵送調査 オンライン調査 (政府統計共同利用システム 独自のシステム 電子メール)

調査員調査 その他 ()

[調査方法の概要]

- ① 栄養摂取状況調査票：調査員が世帯を訪問して調査票を配布。世帯の代表者及び世帯員は、調査票に記入の上、調査員に提出する。
- ② 身体状況調査票：世帯員を会場に集めて医師等が調査項目の計測及び問診を実施する。
- ③ 生活習慣調査票：栄養摂取状況調査票と併せて配布し、対象となる世帯員が記入し、調査員に提出する。オンラインによる回答も可能とする。

ただし①について、調査員による回収が困難な場合、③について調査員又はオンラインによる回収が困難な場合に限り、郵送による提出を認めることとする。

7 報告を求めるとき期間

(1) 調査の周期

1回限り 毎月 四半期 1年 2年 3年 5年 不定期 その他 ()

4年ごとに大規模調査を実施する。

(直近の大規模調査実施年：令和6年)

(2) 調査の実施期間又は調査票の提出期限

ア 大規模調査

令和6年9月上旬～12月下旬

イ 通常年調査

調査実施年の10月上旬～11月下旬

8 集計事項

別添「国民健康・栄養調査集計一覧」のとおり

9 調査結果の公表の方法及び期日

(1) 公表・非公表の別 (全部公表 一部非公表 全部非公表)

(2) 公表の方法 (e-Stat インターネット (e-Stat以外) 印刷物 閲覧)

(3) 公表の期日

概要：調査実施年の翌年11月

詳細：調査実施年の翌々年3月

10 使用する統計基準等

使用する → 日本標準産業分類 日本標準職業分類 その他 ()

使用しない

集計結果の仕事の種類別の表示において、日本標準職業分類を使用する。

11 調査票情報の保存期間及び保存責任者

(1) 保存期間

- ・記入済み調査票：集計結果確定後、1年
- ・調査票の内容を記録した電磁的記録媒体：永年

(2) 保存責任者

厚生労働省健康・生活衛生局健康課長

- 第1部 栄養摂取状況調査
 第2部 身体状況調査
 第3部 生活習慣調査

第1部 栄養摂取状況調査				
番号	結果表	表側	表頭	【参考】 令和6年 一覧番号
1-1	栄養素等摂取量 - エネルギー・栄養素等、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 総数、1歳以上	調査人数、エネルギー・栄養素等、脂肪エネルギー比率、炭水化物エネルギー比率、動物性たんぱく質比率、穀類エネルギー比率	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	1-1
1-2	栄養素等摂取量 - エネルギー・栄養素等、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 男性、1歳以上	調査人数、エネルギー・栄養素等、脂肪エネルギー比率、炭水化物エネルギー比率、動物性たんぱく質比率、穀類エネルギー比率	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	1-2
1-3	栄養素等摂取量 - エネルギー・栄養素等、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 女性、1歳以上	調査人数、エネルギー・栄養素等、脂肪エネルギー比率、炭水化物エネルギー比率、動物性たんぱく質比率、穀類エネルギー比率	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	1-3
2	栄養素等摂取量 - エネルギー・栄養素等、地域ブロック別、平均値、標準偏差、中央値 - 総数、1歳以上	調査人数、エネルギー・栄養素等、脂肪エネルギー比率、炭水化物エネルギー比率、動物性たんぱく質比率、穀類エネルギー比率	地域ブロック、平均値、標準偏差、中央値	2
3	食塩摂取量の平均値及び標準偏差 - 地域ブロック別、平均値、標準偏差 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別	地域ブロック、人数、平均値、標準偏差	3
4	脂肪エネルギー比率の区分ごとの人数の割合 - 脂肪エネルギー比率の区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、脂肪エネルギー比率区分	年齢階級、人数、%	4
5-1	食品群別摂取量 - 食品群、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 総数、1歳以上	調査人数、食品群	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	5-1
5-2	食品群別摂取量 - 食品群、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 男性、1歳以上	調査人数、食品群	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	5-2
5-3	食品群別摂取量 - 食品群、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 女性、1歳以上	調査人数、食品群	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	5-3
6	食品群別摂取量 - 食品群、地域ブロック別、平均値、標準偏差、中央値 - 総数、1歳以上	調査人数、食品群	地域ブロック、平均値、標準偏差、中央値	6
7	野菜類の摂取量区分ごとの人数の割合 - 摂取量区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、野菜類摂取量区分	年齢階級、人数、%	7
8-1	果実類（ジャムを除く）の摂取量区分ごとの人数の割合 - 摂取量区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、果物類（ジャムを除く）摂取量区分	年齢階級、人数、%	8-1
8-2	果実類（ジャムを除く）の摂取量の平均値、標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	8-2
9-1	食品群別栄養素等摂取量 - 食品群、栄養素別、摂取量 - 総数、1歳以上	食品群	栄養素等	9-1
9-2	食品群別栄養素等摂取量 - 食品群、栄養素別、摂取量 - 総数、20歳以上	食品群	栄養素等	9-2
10	朝、昼、夕別にみた1日の食事状況 - 朝・昼・夕別、食事状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、1歳以上	性別、食事構成	年齢階級、人数、%	10
11	朝、昼、夕別にみた1日の食事状況 - 朝・昼・夕別、食事状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上 [一人世帯]	性別、食事構成	年齢階級、人数、%	11
12	朝、昼、夕別にみた1日の食事状況 - 朝・昼・夕別、食事状況、仕事の種類別、人数、割合 - 総数・男性・女性、1歳以上	性別、食事構成	仕事の種類、人数、%	12
13	朝、昼、夕、間別にみたエネルギー及び主要な食品群別摂取量 - 朝・昼・夕・間別、エネルギー・食品群、年齢階級別、平均値、標準偏差、中央値 - 総数・男性・女性、20歳以上	対象者数、性別、エネルギー・食品群	年齢階級、平均値、標準偏差、中央値	13

第2部 身体状況調査

番号	結果表	表側	表頭	【参考】 令和6年 一覧番号
14	身長・体重の平均値及び標準偏差 - 年齢階級、身長・体重別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、1歳以上〔体重は妊婦除外〕	年齢階級	性別、身長、体重、人数、平均値、標準偏差	14
15	BMIの平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、15歳以上〔妊婦除外〕	年齢階級	性別、人数、平均値、標準偏差	15
16	BMIの分布 - BMIの区分、人数、割合 - 総数・男性・女性、15歳以上〔妊婦除外〕	BMIの区分	性別、人数、%	16
17-1	BMIの状況 - 年齢階級、肥満度（BMI）別、人数、割合 - 総数・男性・女性、15歳以上〔妊婦除外〕	性別、年齢階級	肥満区分、人数、%	17
17-2	目標とするBMIの範囲の分布 - 年齢階級、目標とするBMIの範囲、人数、割合 - 総数・男性・女性、18歳以上〔妊婦除外〕	性別、年齢階級	目標とするBMIの範囲、人数、%	18
18	学校保健統計調査方式による肥満区分 - 学校保健統計調査方式による肥満区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、6～14歳	性別、学校保健統計調査方式による肥満区分	年齢階級、人数、%	19
19	腹囲の分布 - 腹囲の区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上〔妊婦除外〕	性別、腹囲の区分	年齢階級、人数、%	20
20	BMI・腹囲の分布 - BMI・腹囲の区分、人数、年齢階級別、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上〔妊婦除外〕	性別、BMI・腹囲の区分	年齢階級、人数、%	21
21	薬の服用状況 - 薬の服用状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、服用状況、薬の種類	年齢階級、人数、%	22
22-1	血圧の状況 - 年齢階級、日本高血圧学会による血圧の分類別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	性別、年齢階級	血圧区分、人数、%	23-1
22-2	血圧の状況 - 年齢階級、日本高血圧学会による血圧の分類別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	性別、年齢階級	血圧区分、人数、%	23-2
23-1	収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の分布 - 収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	性別、血圧種類（収縮期、拡張期）、収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の区分	年齢階級、人数、%	24-1
23-2	収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者含む〕	性別、血圧種類（収縮期、拡張期）	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	24-2
23-3	収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の分布 - 収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	性別、血圧種類（収縮期、拡張期）、収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の区分	年齢階級、人数、%	24-3
23-4	収縮期（最高）・拡張期（最低）血圧の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上〔血圧を下げる薬の使用者除外〕	性別、血圧種類（収縮期、拡張期）	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	24-4
24-1	血色素量の分布 - 血色素量の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上〔貧血治療のための薬の使用者含む〕	性別、血色素量の区分	年齢階級、人数、%	追加
24-2	血色素量の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上〔貧血治療のための薬の使用者含む〕	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
24-3	血色素量の分布 - 血色素量の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上〔貧血治療のための薬の使用者除外〕	性別、血色素量の区分	年齢階級、人数、%	追加
24-4	血色素量の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上〔貧血治療のための薬の使用者除外〕	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
25-1	赤血球数の分布 - 赤血球数の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、赤血球数の区分	年齢階級、人数、%	追加
25-2	赤血球数の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
26-1	ヘマトクリット値の分布 - ヘマトクリット値の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、ヘマトクリット値の区分	年齢階級、人数、%	追加
26-2	ヘマトクリット値の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
27-1	平均赤血球容積（MCV）の分布 - 平均赤血球容積の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、平均赤血球容積の区分	年齢階級、人数、%	追加
27-2	平均赤血球容積（MCV）の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
28-1	平均赤血球血色素量（MCH）の分布 - 平均赤血球血色素量の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、平均赤血球血色素量の区分	年齢階級、人数、%	追加
28-2	平均赤血球血色素量（MCH）の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加

45-1	ALT (GPT) の分布 - ALT (GPT) の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、ALT (GPT) の区分	年齢階級、人数、%	追加
45-2	ALT (GPT) の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
46-1	γ -GT (γ -GTP) の分布 - γ -GT (γ -GTP) の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、 γ -GT (γ -GTP) の区分	年齢階級、人数、%	追加
46-2	γ -GT (γ -GTP) の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
47-1	血清尿酸値の分布 - 血清尿酸値の区分、年齢階級別、人数、割合 - 男性・女性、20歳以上	性別、血清尿酸値の区分	年齢階級、人数、%	追加
47-2	血清尿酸値の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	追加
48	メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の状況 - メタボリックシンドローム (内臓脂肪症候群) の疑い、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上 [妊婦除外]	性別、メタボリックシンドロームの区分	年齢階級、人数、%	31
49-1	腹囲区分別、血中脂質、血圧、血糖のいずれかのリスクを有する割合 - 年齢階級、腹囲の区分、血中脂質・血圧・血糖のリスク保有数別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上 [妊婦除外]	性別、年齢階級、腹囲の区分	リスク保有数、人数、%	32-1
49-2	腹囲区分別、血中脂質、血圧、血糖のリスクの保有状況 [すべての組合せ (①血中脂質②血圧③血糖)] - 年齢階級、腹囲の区分、血中脂質・血圧・血糖のリスク保有組合せ別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上 [妊婦除外]	性別、年齢階級、腹囲の区分	リスク保有状況、人数、%	32-2
50	糖尿病の指摘の状況 - 糖尿病の指摘の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、糖尿病の指摘の有無	年齢階級、人数、%	33
51	糖尿病を指摘されたことがある者における治療の状況 - 治療の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、治療の有無	年齢階級、人数、%	34
52	現在、糖尿病治療をしている者における投薬の状況 - 投薬の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、投薬の状況	年齢階級、人数、%	35
53	現在、糖尿病治療をしている者における生活習慣改善の取組の状況 - 生活習慣改善の取組の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、生活習慣改善の状況	年齢階級、人数、%	36
54	「糖尿病が強く疑われる者」及び「糖尿病の可能性を否定できない者」の状況 - 糖尿病が疑われる者の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	37
55	「糖尿病が強く疑われる者」における治療の有無 - 糖尿病の治療の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、糖尿病の治療の有無	年齢階級、人数、%	38
56	高血圧症有病者の状況 - 高血圧症有病者の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	39
57	「脂質異常症が疑われる者」の状況 - 脂質異常症が疑われる者の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	40
58	運動禁止の有無 - 運動禁止の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、運動禁止の有無	年齢階級、人数、%	41
59	1週間の運動日数 - 1週間の運動日数、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、1週間の運動日数	年齢階級、人数、%	42
60	運動を行う日の平均運動時間 - 運動を行う日の平均運動時間の区分、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、運動時間の区分	年齢階級、人数、%	43
61	運動習慣の有無 - 運動習慣の有無、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、運動習慣の有無	年齢階級、人数、%	44
62	歩数の平均値及び標準偏差 - 年齢階級別、人数、平均値、標準偏差 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別	年齢階級、人数、平均値、標準偏差	45

第3部 生活習慣調査

番号	結果表	表側	表頭	【参考】 令和6年 一覧番号
63-1	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「ア 体重管理」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
63-2	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「イ 食事」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
63-3	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「ウ 睡眠」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
63-4	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「エ 飲酒」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
63-5	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「オ 喫煙」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
63-6	自分自身の健康づくりを目的とした情報源「カ 運動・身体活動」 - 内容別、情報源の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、情報源の状況	年齢階級、人数、%	追加
64	自分自身の健康づくりを目的に利用したデジタルツール - 健康づくりを目的に利用したデジタルツール、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、内容の状況、行動管理の状況	年齢階級、人数、%	追加
65	咀嚼の状況 - 咀嚼の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	48
66	1日の平均睡眠時間 - 1日の平均睡眠時間、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、睡眠時間	年齢階級、人数、%	49
67-1	睡眠の状況 - 睡眠の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	50-1
67-2	1日の平均睡眠時間別、睡眠の状況 - 睡眠の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	睡眠時間、性別、状況	年齢階級、人数、%	50-2
68	睡眠の質の状況 - 睡眠の質の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	追加
69	睡眠の妨げの状況 - 睡眠の妨げの状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	追加
70	飲酒の頻度 - 飲酒の頻度、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、飲酒の頻度	年齢階級、人数、%	55
71	飲酒日の1日当たりの飲酒量 - 飲酒日の1日当たりの飲酒量、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、飲酒量	年齢階級、人数、%	56
72	飲酒の頻度別、飲酒日の1日当たりの飲酒量 - 年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	飲酒の頻度、性別、年齢階級	1日あたり飲酒量、人数、%	57
73	飲酒習慣の状況 - 飲酒習慣の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、状況	年齢階級、人数、%	58
74	喫煙の状況 - 喫煙の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、喫煙の状況	年齢階級、人数、%	60
75	現在喫煙者におけるたばこ製品の種類 - たばこ製品の種類、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、種類	年齢階級、人数、%	61
76	現在喫煙者におけるたばこ製品の組合せの状況 - たばこ製品の種類、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、種類	年齢階級、人数、%	62
77	現在喫煙者における禁煙の意思 - 禁煙の意思、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、禁煙の意思	年齢階級、人数、%	63
78	現在喫煙者におけるたばこ製品の組合せの状況別、禁煙の意思 - たばこ製品の種類、禁煙の意思、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、種類	年齢階級、人数、%	64
79-1	喫煙の状況別、受動喫煙の状況「ア 家庭」 - 喫煙の状況、受動喫煙の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、喫煙の状況、受動喫煙の状況	年齢階級、人数、%	65-1
79-2	喫煙の状況別、受動喫煙の状況「イ 職場」 - 喫煙の状況、受動喫煙の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、喫煙の状況、受動喫煙の状況	年齢階級、人数、%	65-2
79-3	喫煙の状況別、受動喫煙の状況「エ 飲食店」 - 喫煙の状況、受動喫煙の状況、年齢階級別、人数、割合 - 総数・男性・女性、20歳以上	性別、喫煙の状況、受動喫煙の状況	年齢階級、人数、%	65-4

(注) e-Statには全ての統計表を掲載する。報告書はこの中の一部を掲載する。

本調査の標本設計について

① 本調査は、世帯調査であるため、調査客体ではなく、単位区を抽出する形となっております。過去の同調査と同規模の標本抽出を行うため、同程度の精度が得られるものと考えております。調査精度として、誤差率を把握しておりますが、算出式は以下のとおりです。

全国（または地域ブロック別）平均の推定値 \hat{Y} は次式で得られる。

$$\hat{Y} = \left(\sum_{h=1}^H \sum_{i=1}^{n_h} \sum_{j=1}^{m_{hi}} w_{hij} y_{hij} \right) / w_{..}$$

ただし、

$h = 1, 2, \dots, H$: 層番号（全体で H 層）

$i = 1, 2, \dots, n_h$: 層 h 内での単位区番号

$j = 1, 2, \dots, m_{hi}$: 層 h , 単位区 i 内での個人番号

n : 全体の人数合計

w_{hij} : 層 h , 単位区 i , 個人 j の基本の重み（抽出率はどの層でも一定とみなし、常に 1 とした）

y_{hij} : 層 h , 単位区 i , 個人 j の栄養素摂取量等

$$w_{..} = \sum_{h=1}^H \sum_{i=1}^{n_h} \sum_{j=1}^{m_{hi}} w_{hij}$$

推定値 \hat{Y} の分散は、次式により推定。

$$\hat{V}(\hat{Y}) = \sum_{h=1}^H \hat{V}_h(\hat{Y})$$

ここで、 $n_h > 1$ の場合、

$$\hat{V}_h(\hat{Y}) = \frac{n_h}{n_h - 1} \sum_{i=1}^{n_h} (e_{hi} - \bar{e}_{h..})^2$$

$$e_{hi} = \left(\sum_{j=1}^{m_{hi}} w_{hij} (y_{hij} - \hat{Y}) \right) / w_{..}$$

$$\bar{e}_{h..} = \left(\sum_{i=1}^{n_h} e_{hi} \right) / n_h$$

であり、 $n_h = 1$ の場合、

$$\hat{V}_h(\hat{Y}) = \begin{cases} \text{計算不能 (全ての層で } n_h = 1 \text{ の場合)} \\ 0 \text{ (それ以外の場合)} \end{cases} \text{とする。}$$

誤差率は、標準誤差（推定値の分散の平方根）を推定値で除して得る。

② 目標精度は、健康日本21（第三次）の主要な指標について、以下のとおり誤差率を定めています。

- ・肥満者の割合 3%
- ・野菜摂取量の平均値 1%
- ・食塩摂取量の平均値 1%
- ・歩数の平均値 1%
- ・喫煙者の割合 3%